



地歌舞 古澤流 侑毘会

第七回

舞



会

令和元年十月二十七日(日)

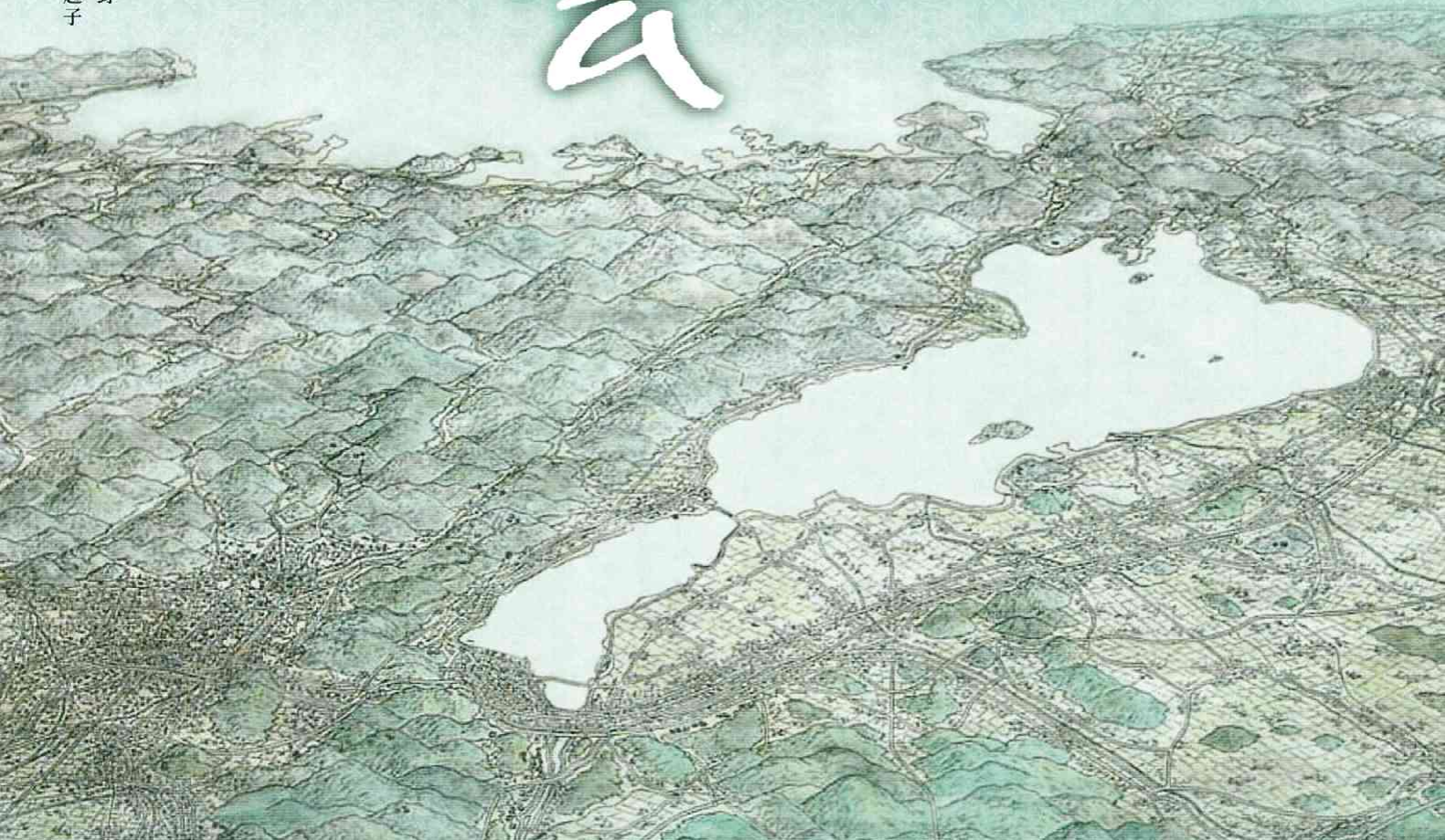
午後一時半開演(午後二時開場)

会場 大津市伝統芸能会館

入場無料

題字 延木 甲野

鳥瞰図 延木 由起子



お問合せ 090-3261-9334 077-573-2464 主催 侑毘会



皆様にはますますご清祥のことと心からお慶び申し上げます。

さてお陰様で本年も家元古澤侑峯師、京地唄演奏家戸波有香子先生のご協力を賜り、侑毘会第七回「舞の会」を開催させていただく運びとなりました。

元号新たな本年に「名取三名」誕生いたしました。併せて皆の平素のお稽古の仕上げをご披露申し上げます。

拙いところはお目こぼし頂き、ご批評賜りますれば、幸いです。

秋の好季節、お忙しいことと存じますが、お誘い合わせの程、お出まし頂きますようお願い、心よりお待ちしております。

令和元年秋吉日

会主 古澤 侑毘

絵日傘 池田 滯莉

八千代獅子 古澤 侑毘凛

夕顔 古澤 侑毘玲

木津川 古澤 侑毘沙

袖の露 古澤 侑毘菜

火桶 古澤 侑毘良

千鳥 森下 ちづる

残月 古澤 侑毘沙

浪花十二月 古澤 侑毘菜

文月 古澤 侑毘玲

古澤 侑毘芽

古澤 侑毘良

地唄演奏「初鶯」 戸波 有香子 他

万歳 家元 古澤 侑峯

影法師 会主 古澤 侑毘

地方ご協力

柳川三味線 戸波 有香子

箏 中村 麻凜奈

尺八 岡田 道明

十六時頃 終演予定

仮番組の為変更はご了承ください。

監修・古澤 侑峯

地歌舞とは 地歌(上方歌)を基に舞う「舞」の意、平安時代の白拍子の舞の流れを汲み、宮廷の芸能から

も筋を引く処があり 能の影響を深く受けています。本来、座敷で舞われるものであるところから「座敷舞」とも呼ばれ、江戸期には中・上流家庭で子女の情操教育の一つとしても広く培われてきました。

おけいこ 稽古は基本的な着物の着方、立ち方、座り方、歩き方などから始めて、地歌などの曲を一曲づつマスターしていきます。精神を集中し心を込めて舞ううちに到達する精神状態は、禅を組んで行きつく空白

の状態になるのが理想です。それまでの段階では、身体の癖を直し腰を落とした状態で安定した自然な動作、所作を行うことを身につけ、余分な力を抜くことを覚えます。それは動作そのものの訓練と言うよりは、むしろ動作をするとき(あるいは静止するとき)の気の入れ方、心の入れ方を学ぼうに重点が置かれています。したがって、一人二人の身体の特長や、精神の個性が生かされ、舞をベースにその人にあった自然の身体の動き、心の動きをマスターすることによって、より豊かな人生を満喫する事を目的としております。

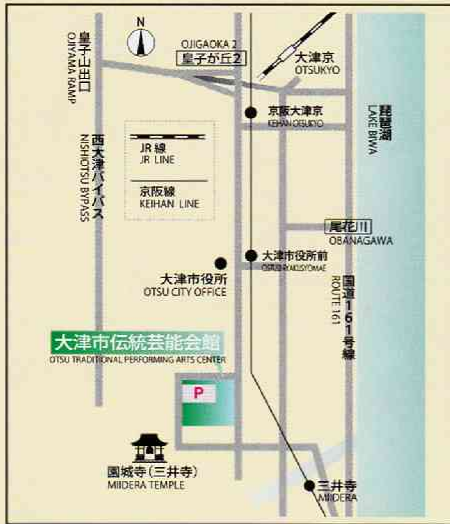
舞体操とは これからの人生をよりはつらつと健康に楽しく過ごして頂くために、「舞体操」をお勧めします。舞体操は地歌舞を基に 健康と楽しむのために考え出された誰にでもできる体操です。荒城の月、この道、さくらさくら...etc 年令等関係ありませんので、一緒に楽しく優雅に舞ってみませんか？

お稽古場

大津市仰木の里公民館 毎週(月) 京都・亀岡ガレリア 月二回(火)

大津市伝統芸能会館 月二回(水) 近江八幡文化会館 月二回(金)

大津市伝統芸能会館へのアクセス



[交通案内]

京阪石坂線「大津市役所前」駅から南へ約400m

JR琵琶湖線大津駅からタクシーで約10分

JR湖西線大津京駅からタクシーで約5分

御来館者専用の無料駐車場がございます。

(先着50台程度)

指導・師範

古澤 侑毘

Tel・Fax 077-579-4493

携帯 090-3261-9334

※お気軽にお問い合わせください